

(東三河地域内関係人口創出事業)
～担い手不足になっている地域資源の保存・活用等の事例を活用した
関係人口創出実証実験 実施報告～

歴史・文化、草刈り（環境保全）に関する 関係人口創出のための実証実験のご紹介



令和7（2025）年3月

愛知県東三河総局企画調整部企画調整課

【はじめに ～本報告書の趣旨～】

愛知県内でも先行して人口減少がすすむ東三河地域では、高齢化や若者の流出等により地域を支える担い手が不足し、歴史文化や生活環境の維持など暮らしに大きな影響を及ぼしています。

そこで、2021年12月に東三河ビジョン協議会が策定した「東三河振興ビジョン2030」に基づき、当地域に新たな魅力と価値を創造することを目的に、東三河地域内における新たな関係人口の創出を進めてきました。

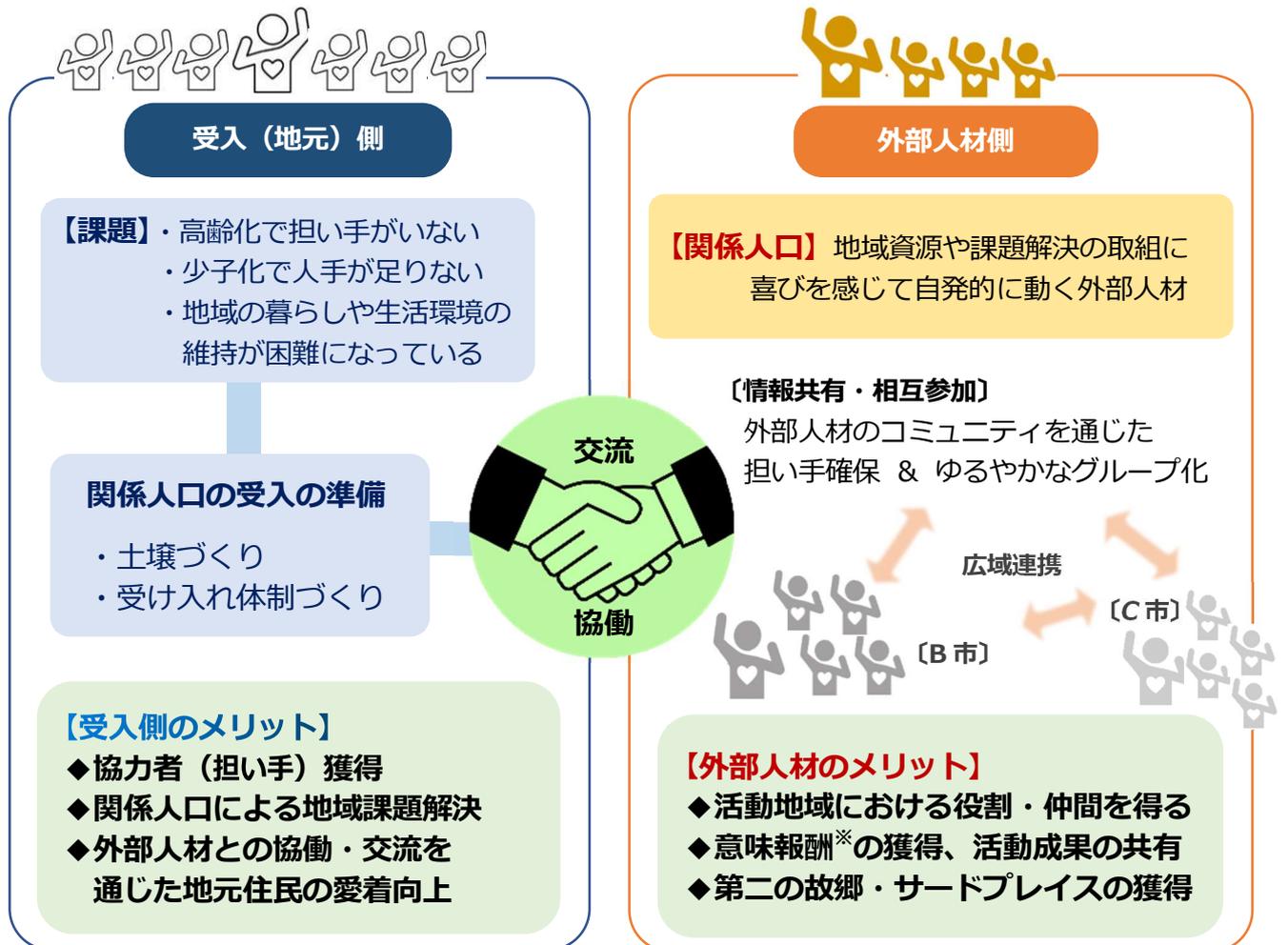
令和6年度は、前年度に引き続き「歴史・文化」「草刈り応援（地域環境）」のテーマを設定。人材不足が進み地域資源の保存や活用が難しくなっている現場に、若者や女性などを含めてテーマに関心のある担い手を「関係人口」として東三河地域内から募り、地域課題解決や新たな価値創出のための実証実験に取り組んできました。そこで得られた成果や課題を、本報告書で紹介させていただきます。関係人口をとりいれた地域活性化のヒントとして、ぜひご活用ください。

〔目次〕

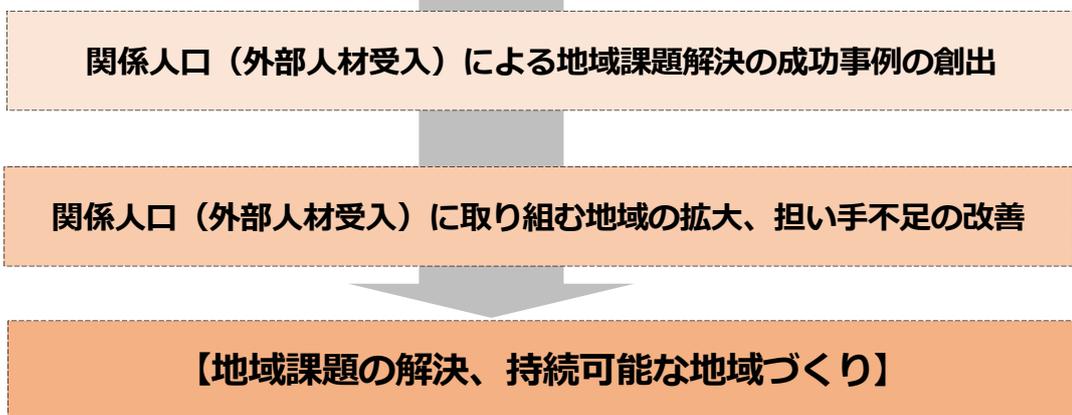
I 令和6年度 実証実験の実施概要	2
II 各テーマの実証実験の結果	3
テーマ1.「歴史・文化」ボランティア	3
テーマ2.「草刈り」応援隊	5
III 実証実験で得られた成果と課題	9

※関係人口とは ～関係人口を活用する意義やメリット～（令和4年度 先進事例集より）

人口減少・高齢化による地域づくりの担い手不足という課題に対し、「関係人口」が注目されています。地域外部の人材が、地域づくりの担い手として地域の人々と多様に関わる「関係人口」の取組は、受入側には地域課題の解決、外部人材には楽しさややりがいが見られ、お互いにメリットが生まれます。関係人口の取組は、地域資源の活用や磨き上げにつながり、地域の魅力も高まります。



※賃金（経済報酬）とは異なり、自己のモチベーション・社会貢献度・自己成長など形のない報酬。



I 令和6年度 実証実験の実施概要

1. テーマ…「歴史・文化」「草刈り」

- ・今年度は、実証実験の2か年目として、東三河地域の地域特性やニーズ・課題、マッチングの可能性などを考慮し、具体的に「歴史・文化」「草刈り」の2つのテーマを設定しました。なお令和5年度のテーマ「スポーツ」は、民間主体の取組に移行したことからテーマからは除いています。
- ・東三河地域内の自治体や地域団体からの情報提供などをもとに、実証実験（研修含む）の受入や協力が可能な活動・地域を選定しました。

2. 対象…東三河地域内の事業所・大学・市民団体等

- ・地域課題解決や地域貢献活動への関心が高く、実証実験への参画・協力が期待される東三河地域内の企業や経済団体、大学、市民活動支援団体等を抽出しました。

＜事業所17、経済団体7、大学5、市民活動センター5、歴史・文化団体7＞

3. 募集方法… WEB や DM ・ 個別訪問で参加者募集&マッチング

- ・上記の対象団体等に対して、実証実験の開催案内チラシをメールで配布するとともに、関心の高い事業所や大学等には直接訪問し、個別に趣旨説明及び参加依頼を行いました。
- ・個人向けには、「彩り、よりどり 東三河」や「愛知県交流居住センター」のHPやSNS、NPO・社会的企業のボランティア募集サイト「active アクティボ」などを通じて参加者を募集。
- ・さらに、「三河の山里サポートデスク」の三河の山里集落活動応援隊へのDM送付を行い、参加者募集（マッチング）を行いました。

4. 実施状況 及び 参加者数…

テーマ	実施時期及び回数	参加者数 (のべ)
歴史・文化	・令和6年9月～令和7年1月にかけて計10行事を実施	新規 86名 (R5 新規 73名)
草刈り	・令和6年8月～12月にかけて6回の研修を実施	35名 (R5 13名)
	・令和6年9月～11月にかけて 東三河地域内の7の草刈り等環境整備に自主参加	8名 (R5 11名)

II 各テーマの実証実験の結果

テーマ1. 「歴史・文化」ボランティア

(1) 背景

- ・様々な歴史の舞台となってきた東三河地域には、歴史的に価値のある古戦場や城跡などの戦国時代を中心とした史跡、花祭りをはじめとする伝統芸能などの文化財、渥美半島エリアなど豊かな歴史・文化資源が残されています。
- ・東三河地域の各地で、長年にわたりこうした歴史文化資源の保存・保全活動を行っている団体・組織が存在します。こうした団体・組織では、メンバーの高齢化や減少などが課題となっている団体・組織も少なくないのが現状です。
- ・地域内関係人口を呼び込み、これらの資源の保全や魅力の向上を図るため、東三河地域内の8市町村の歴史・文化担当者が集まり、令和5年2月から「歴史をテーマとした東三河関係人口創出検討会議」が発足。東三河8市町村による歴史関連のボランティアを活用したイベント等について情報交換が進められてきました。



(2) 実証実験 実施概要

- ・この会議にて、関係人口となるボランティアを募集したい歴史保存等のイベントや活動を抽出し、計10の行事を対象としました（下表参照）。
- ・吉胡貝塚及び保美貝塚の環境整備では、学芸員によるミニ講義やプレゼントなどの魅力を付与した企画とすることで、東三河圏域内外から新たな参加者を発掘しました。
- ・東三河地域を中心に歴史愛好家の個人や団体に対して、ボランティア募集サイト「active アクティブ」なども活用して広域的に参加者（関係人口）を募り、保存・保全活動を協働によって行う実証実験を行いました。新規参加者は86名あり、令和5年度の73名から増加しました。



No	主催団体	日時	行事	新規参加者 (全体参加者)
1	豊橋市	毎月第2火曜日	豊橋市文化財サポーター	33(262)
2	豊川市	9月毎週土曜日	赤坂の舞台歌舞伎公演のための小屋掛け作業	8(40)
3	豊川市	9月21日	三河国分尼寺史跡公園 天平ロマンのタベ	26(40)
4	吉田城の堀さげ隊	10月5日 1月18日	吉田城址の堀の清掃ボランティア	不明(192)
5	三河古宮城址保存会	10月19日	名城古宮城整備活動	1(25)
6	田原市	10月26日	吉胡貝塚史跡整備	6(6)
7	田原市	11月9日	保美貝塚環境整備	9(9)
8	豊橋市	12月7日	とよはしシンポジウム	0(8)
9	設楽原をまもる会	12月14日	設楽原決戦馬防柵修繕	2(25)
10	豊橋市	1月11日	石巻古墳ウォーク!	1(10)
計				86(617)

(3) 活動の様子

◆10/26 「吉胡貝塚史跡整備」の様子



◆11/9 「保美貝塚環境整備」の様子



(4) 主な成果と課題

<成果>

- ◆オンリーワンの歴史資源に対して、東三河地域の一般市民や学生に加えて、名古屋市やあま市などの遠方からも歴史好きの方が参加し、楽しみながら草刈りや清掃に取り組んで頂いた。
- ◆ボランティア募集サイト「active アクティブ」なども活用したことで、中学3年生の親子や愛知大学の女子学生など、これまで参加したことがない対象を掘り起こすことができた。
- ◆令和5年度を上回る新たな関係人口を得ることができ、歴史資源の保全・保存の取組に関心を示すファンが存在していることが明らかになった。
- ◆田原市では、参加者のインセンティブとして「勾玉のプレゼント」や「学芸員の遺跡ガイド」を付与し、集客の効果を発揮するとともに、参加者からも大変好評であった。
- ◆受入側の地元関係者や施設担当者の、地域資源への愛着や誇りの醸成にも効果が見られた。

<課題>

- * 関係人口の受け入れを希望する地域や活動と、参加・協力を希望する歴史愛好家等が、簡易に情報共有し継続的にマッチングできるような仕組みづくりが求められる。
- * 粗品進呈などのインセンティブの付与については、観光的な取組との連携が課題となる。

テーマ2.「草刈り」応援隊

(1) 背景

- ・少子高齢化と人口減少を背景に、地域の自治活動や環境保全活動などが衰退している地域も増えています。中でも、日常的に一定の労力を必要とする草刈り等の共同作業は、高齢の役員や限られた地域住民にとって負担が大きく、継続が困難になっています。
- ・草刈りができなくなり雑草が繁茂することで、身近な生活環境の荒廃、地域の景観の悪化、農業への悪影響など、地域の暮らしに与える影響は少なくありません。
- ・東三河地域の多くの地区・集落の共通課題となっている草刈り等の共同作業の実施や地域のお祭り・行事、環境保全活動等の継続的な運営に着目し、それを関係人口によって支えていく仕組みとして、令和5年度に引き続き「草刈り応援隊活動」を実証実験のテーマとして設定しました。
- ・また令和6年度は、これまで比較的参加が少なかった「学生」及び「女性」に着目し、ターゲットに応じた新たなPR方法や取組内容などにもチャレンジしました。

(2) 実証実験 実施概要

- ・草刈り応援隊の参加者募集にあたり、8月3日に設楽原歴史資料館にて「刈払機の安全講習会」を開催。新城で森林保全に取り組む「NPO 法人森林真剣隊」のご協力を得て、座学及び演習を通じて実践的に草刈りを学びました。最後に、受講者に修了書を授与して講習会は終了しました。
- ・新城市黄柳野で大学生を対象に実施した「東三河ローカルラボ」では、愛知大学の学生などのべ18名が参加し、8月～11月にかけて計4日間草刈り活動を実施しました。さらに、地元のまちづくり団体「すすめの学校」や新城市役所の協力を得て、地域のフィールドワークや住民への聞き取りなども行い、空き家や獣害対策などの地域課題の解決にむけた提案を取りまとめました。
- ・11月30日には、主に女性を対象にした“おしゃれ農業女子会” in とよはし～草刈りとちよっぴり農業体験～を豊橋市で開催。高校生を含む9名の参加者が集まり、豊橋市の農業を女性のパワーでおしゃれに楽しくPRするグループ「おしゃれ農女」のご協力のもと、刈払機のメーカーによる草刈りの講義や演習、トマトの収穫などの農業体験などを楽しく実践しました。

事業名	日時/会場	内容	参加者数
刈払機の安全講習会	8月3日/設楽原歴史資料館	・刈払機の操作方法や安全対策などの講義、屋外実技	一般市民や事業所など 8名
東三河ローカルラボ	①8月17日、②8月18日 ③10月27日、④11月26日 /新城市黄柳野地区 (会場:黄柳公民館)	・刈払機の操作方法や安全対策などの講義、屋外実技 ・黄柳野の現地調査、地域住民への聞き取り、地域課題解決の活動提案など	大学生など 6名 (のべ18名)
“おしゃれ農業女子会” in とよはし ～草刈りとちよっぴり農業体験～	11月30日/めぐりとまと小島町ハウス(豊橋市小島町)	・刈払機の操作方法や安全対策などの講義、屋外実技 ・トマトの収穫体験、シクラメンのコケ玉づくり ・おしゃれ農女と参加者の交流	高校・大学生を含む9名 おしゃれ農女 8名

(3) 活動の様子

◆ 8/3 「刈払機の安全講習会」の様子

彩りよどり 東三河 草刈り応援隊
参加者募集

令和6年8月3日(土)
[刈払機の安全講習会]を開催!

★参加のメリット1 刈払機の安全な取り扱い方法が実践的に習得できる!
★参加のメリット2 地域の方や活動団体に喜ばれる! いい汗がかけてリフレッシュ!
★参加のメリット3 社会人の皆様には社会貢献活動で最先から評価されるかも? 学生さんにとっては、「ガクチカ」や「単位」になるかも!

楽しかったよ! きれいになって気分もリフレッシュ!
無心になれて気分がスッキリ!
新機が怖かったけど慣れれば何のこともなかった!
実習が楽しみなよ!

1. 事業の目的
高齢化・過疎化が進んでいる地域では草刈りや雑草の刈り込みに困っています。また、お祭りイベント等の草刈りには除草剤や農薬などの有害な化学物質も使われています。それをおよぼすのが「彩りよどり東三河-草刈り応援隊」です。「日本の新農業」を目指す東三河を応援し、「自然豊かな東三河で地方の人々と交流しながらかつたよ!」活動の柱として、草刈り活動とつながるボランティアの力を活用しています。
そして、こうしたボランティア活動を支えるために、まずは、「刈払機の安全講習会」の開催を募集します。是非ともご参加ください。

2. 事業の流れ
[刈払機の安全講習会]の受講申込
↓
[刈払機の安全講習会]の受講
↓
受講証の授与(草刈り応援隊加入)
↓
東三河地域内で草刈り活動の実践

★[刈払機の安全講習会]を開催する目的
刈払機(除草機)では、刈草を刈り取りますが、農薬を散布します。そこで、刈払機の取り扱いや安全な刈り方に関する講習を開催します。

募集に続きます。



◆ 「東三河ローカルラボ」の様子

ガクチカづくりを応援!

東三河ローカルラボ

めざせ!
新たな暮らしと
暮らしを
支える
地域づくり

こんなことができる!

- 地域の魅力を発信しながら社会貢献への理解を深めることができます!
- 地元産品との交流で地域の魅力を再発見!
- 草刈り体験を通じて実習的なスキルを習得!
- ガクチカづくりに活躍! 活躍力UP!

SDGsと関連!

- 地域の魅力・文化を伝えて、持続可能なまちづくりに貢献!
- 地域の人口増や移住を促して地域の未来を創る!
- 空気をきれいにするか? アイデアを駆使して課題解決!

メンバー募集



(参考) 国内最大規模の NPO・社会的企業のボランティア募集サイト「activo」での募集について

概要・利用方法	募集事業・掲載日	成果
<ul style="list-style-type: none"> 国内最大規模の NPO・社会的企業のボランティア募集サイト。 無料プランでサイトに団体登録。 ボランティア募集したい行事について、内容や条件等を記載してアップ。 ボランティアに関心のあるユーザーが、分野やテーマなどで検索することができるため、関心層に情報が届きやすいメリットがある 有料プランの場合、優先表示、募集可能な人数の上限や返信メールの編集ができるなどサービスが一部充実する。 <p>【サイト URL…https://activo.jp/】</p>	<p>10/26 (田原市) 吉胡貝塚史跡整備 【10/17 掲載】</p>	<p>申込 2 名 (名古屋市／親子)</p> <p>※全 6 名参加 (R5 は 0 名)</p>
	<p>11/9 (田原市) 保美貝塚環境整備 【10/17 掲載】</p>	<p>申込 3 名 (あま市／親子)</p> <p>※全 9 名参加 (R5 は 3 名)</p>

※上記以外にも、歴史ボランティアや草刈りボランティアを募集したが、そちらは応募がなかった。参加者募集の方法として可能性はあるものの、募集内容や魅力的な伝え方などの工夫が必要。

【参考：「activo」トップページ】



【参考：「activo」募集ページ】



Ⅲ 実証実験で得られた成果と課題

1. 成果

【成果①】社会実験を通じた「関係人口」の創出（社会実装）

地元の受入側との交流や協働作業を通じて、歴史や草刈りなどの**地域資源の保全・活用をささえる新たな担い手「関係人口（個人・事業所など）」**を令和5年度からさらに増加させることができました。

【成果②】若者や女性も担い手になりうることを実証できた

【価値創造&自己実現】の要素をもつ歴史や、【社会貢献&地域課題解決】の要素が強い草刈りの取組などにおいて、**女性や若者にもボランティア活動へ積極的な参加意向を持つ（関係人口となりうる）関心層が存在**することがわかりました。

【成果③】オンリーワンのコンテンツの価値を再評価

オンリーワンの価値を有する歴史文化や地域資源などを、ターゲットに応じて効果的に訴求したり、付加価値を付与することなどで、**広域からでも関係人口を呼び込むことができるコンテンツになりうる**ことが明らかになりました。

【成果④】現場でのリアルな対話や交流、実践が相乗効果を生み出す

現場での対話や交流、体験、学び合いが、**関係人口の創出や地域住民のわがまちへの愛着醸成**など WIN-WIN の効果を発揮することが明らかになりました。

2. 課題・展望

【課題①】受入側の目的意識の共有と負担軽減

地域資源の価値を理解し、関係人口（ボランティア）を受け入れることの**意義や可能性を地域で共有**するとともに、先進地域の経験やノウハウを参考にして**事前準備や運営を簡素化し、負担を軽減**することが求められます。

【課題②】ターゲットに応じた効果的な PR・マッチング

テーマに応じた**的確なターゲティング**（年齢・性別・地域・志向）とともに、**効果的な周知・集客や、事業所や大学等とのマッチングの仕組みづくり**による、新たな担い手の掘り起こしが求められます。

【課題③】参加経験者のゆるやかな組織化とマッチング支援、信頼関係の構築

参加したボランティアを継続的な関係人口へと発展させるために、参加者のグループ化やきめ細かい情報提供、マッチングの支援が求められます。また、**受入側と参加者の交流を通じて信頼関係を構築**していくことが求められます。

【発行】令和7年3月／愛知県東三河総局企画調整部企画調整課

【問合せ】〒440-8515 豊橋市八町通五丁目4

電話：0532-35-6110、FAX:0532-54-5120